

2018 年度事業報告

(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人長野県 NPO センター

【2018 年度事業の総括】

◆ NPO 活動支援事業

長野市及びその周辺部を拠点に活動する NPO に対して、① NPO 法人設立認証申請 ② 個別事業の資金調達 ③ 他団体との協働構築などのコンサルタント・サポート、事務代行業務を実施した。その中の 2 団体については、年間を通じて伴走型で事業をサポートすることにより、団体の事業充実、他団体との協働、組織基盤強化にもつながっている。今後も個別の NPO 等が直面している課題・ニーズの把握、広報（営業）活動を行うことで、収益性ある事業として発展させていきたいと考えている。

「SAVE JAPAN プロジェクト」については、昨年度と同じ団体との支援契約を締結した。戸隠高原に自然と文化に焦点をあて、団体の独自性やスキルを活かした事業を展開するとともに、地元の関係団体や行政との協働構築に大きく寄与した。

NPO 法人等の実務、広報、組織基盤強化に関する講座の企画・開催も積極的に行った。個々の NPO の信頼を得るには、事業の確実な遂行と並んで、人材育成・確保、広報の充実、資金調達・財務管理の適正実施といった組織基盤をバランスよく成長させていくことが重要である。北信越の中間支援組織と協働して、NPO 法 20 周年を記念して、NPO・市民活動のこれまでとこれからの展望したフォーラムの開催し、市民の「参加」と「協力」による NPO のあり方を考えた。組織基盤の評価とそれに基づく評価に関する 2 つの講座を開催し、県内の NPO 等の組織力の強化に貢献した。

長野県初の地域課題を発信し、市民と NPO をつなぐ NPO 総合情報ポータルサイト「ナガクル」をオープンさせ、社会・地域の課題に対する市民目線での問題提起と一般の人にはいまだ見えにくいと言われる NPO・市民活動をまとめて情報提供できるインフラの整備を行った。

インキュベート・オフィスの運営については、2018 年 3 月末現在 6 団体が入居し、互いに関係性を深めているとともに、当法人として各団体のニーズに柔軟に対応することで業務安定化に寄与している。

◆ 企業・団体との協働事業

市町村、県域、圏域、全国域の中間支援団体等からの依頼を受けて、交流イベントでの事例紹介・講座や NPO の運営、資金調達に関する講座講師を務めるとともに、県域、圏域、全国域の研修・大会の企画運営に積極的に参画し、市民活動の活性化と多様なステークホルダーとの協働を推し進めた。

長野県主催の「NPO 法人設立講座」講師を毎月努めるほか、千曲市の行政・民間の協働プロジェクトの助言者を担当し、行政との協働も推し進めた。また広域受援計画の策定や県域の災害時連携ネットワーク構築の検討など新たな社会の仕組みづくりにも積極的に関与した。

社会・地域問題を解決する主体として、「ソーシャル・ビジネス (SB)」「コミュニティ・ビジネス (CB)」が昨今注目されている。「ソーシャルビジネスサポートながの」と協働して、セミナーの開催や様々な団体によるサポートを実施し、SB、CB の創業を確実に後押しした。

今後はさらに市民の「参加」と「協力」を創りだすプロフェッショナルとして、協働の現場において、「変革促進」「プロセス支援」「資源連結」「問題解決提示」からなるチェンジ・エージェンツ機能を発揮していきたい。

◆ 委託事業、助成・補助事業

1 長野市市民協働サポートセンター事業

さまざまな人や組織による公益的な活動の交流や連携の機会を提供し、長野市内における協働の取組がさらに活発化することを目的に、次の重点目標を掲げて事業展開と運営を行った。

- (1) 市民公益活動団体の自立を支え、信頼と安定感のある社会貢献活動が営まれる「ながの」にする。
- (2) 「人と人」「人と組織」「組織と組織」とのつながりと対話を生みだし、それぞれが役割と出番がある地域社会を「ながの」で実現する。
- (3) 市民、NPO、地縁団体、企業、社会的起業家、行政など様々な主体が参加する「協働」の場を提供し、元気なまち「ながの」を創造する。

その結果、新しいコミュニティが生まれ、NPOの成長にもつながってきている。

また、2016年からは、短期ミッション「地域の底力を信じ、市民一人一人を“ローカルヒーロー”に」を掲げ、「地域まんまる」を実施し、住民自治協議会など地縁団体との連携に力を入れた。NPOと地縁団体とがつながり、互いを知るきっかけを提供することで、地域の中で活躍するNPOとの出会いにもつながっている。地域まんまるやを通して、地縁組織からの依頼も増え、センターを利用する団体が多様化したことにより情報の受発信も活発になっている。

ながの協働ねっと事業では、「一杯のみそ汁プロジェクト」と「ヒューマンライブラリー(権堂〇〇フェスタ)」が自立し、組織として協働から自立を促し、さらなる協働を生み出すことができたことは大きな成果だった。また、大きな協働プロジェクトとして実施した「地域まるごとキャンパス」は200人近い学生の申し込みがあり、学校・学生側のニーズと合致した結果だった。また、ワールド提案のNPO・企業と協働することで新規会員開拓にもつながった。

今後の課題としては、センター利用者の拡大と、センター運営にかかわる団体・個人の層を年代や背景にかかわらず増やし、市民の力を運営に活かしていくことに力を入れたい。また、NPOステップアップ講座の参加者の低迷が見られ、団体のニーズに合致した企画と、集客努力が必要と思われる。開設から15年以上が経過したにもかかわらず、センターの存在が市の庁内でも知られていないことも課題であり、今後は市の担当課とのコミュニケーションを密にし、事業と協働の成果を共有していきたい。

2 信州パーソナル・サポート事業

生活困窮者自立支援法による長野県の当該委託事業に引き続き採択された。今年度から【東部】【北部】と分けられて委託され、東北信地区の郡部町村と市部を対象に事業を実施した。

また、上田市からも同事業を受託することとなり、県内の中間支援組織のネットワークをいかしつつ、専門的知識や人脈を有するスタッフが、一般就労が困難な者に対する生活自立・社会自立・就労自立の支援計画を立案したうえで、対象者それぞれの「自立」にむけたサポートを行い、就労につながる成果をあげた。

今後は、「8050問題」に象徴される「ひきこもり」の対象者に対する支援の検討や、企業、福祉施設等との連携により、求職活動につながる職場体験プログラムの開発、地域福祉のネットワークと連携した社会自立支援に重点的に取り組んでいく。

3 子どもの居場所づくり事業

7人に1人が相対的貧困状態にあり、そのことに起因するさまざまな「こどもの貧困問題」が全国

的にも注目されている。長野県でも対策のひとつとして、貧困家庭等の子どもに対し大人とのあたたかなつながりのもとで、学習支援、食事提供、悩み相談などを行い、家庭機能を補完する「子どもの居場所づくり」が推進されている。2016年度のモデル事業実施の成果を踏まえて、県が地域振興局単位で「信州こどもカフェ」の普及拡大のための多様な主体で構成するプラットフォームの人材育成事業を上田、長野、北信地域で展開した。

こどもの居場所を2箇所直接運営し、本事業の現場の課題解決を実証的に行うとともに、居場所の開設運営に携わるコーディネーターや学習ボランティア等の人材育成に寄与した。

4 若者の社会・地域活動への参画促進事業

若者が地域の困りごとを解決する行動を企画・実践する「youth reach」を2016年度より拡大して実施し、若い世代の「市民性」を持った人材を発掘するとともに、長野地域の高校生、大学生が学校の枠を超えて参加するコミュニティの形成につながっている。

<評価と今後の展望>

当法人の事業運営上の最大の課題は、自主事業で一定の収益が得られ、自立した組織運営を可能にすることである。「ミッション」の趣旨に添って、社会や地域の課題解決に市民のボランティアな「参加」を促しながら、一方で安定的な収益事業を営むためには、市民活動団体等の多様なニーズにきめ細かく対応する提供サービスや新たな協働プログラムの開発に重点的に取り組む必要がある。

一方で、行政等からの委託事業実施や他の中間支援組織などとの協働もミッションを達成するためには欠くことのできない事業である。長野市市民協働サポートセンターも、長野市内NPOなどとの交流・協働がより一層広がり、その評価も高まってきている。相談者や参加者の増加等を含め、更なる認知度アップや協働提案等を念頭に活動しながら、他のモデルとなる「ベストプラクティス」を多く生み出していきたい。また「就労準備支援事業」、「こどもの居場所づくり事業」を通じて、NPOがもつ広いネットワークを活かした社会のセーフティーネットづくりを「市民」とともに進めていく。

若手スタッフの採用により、若者の社会・地域活動への参画促進に関する事業を戦略的に進める環境が整いつつある。またこの事業を核に、SDGs 実現に向けた取り組みに発展するなど、他の事業とのシナジー効果も出てきた。

NPO 法施行、そして当会の創設20周年の節目の年を経て、「NP02.0」の時代に入った。役員、スタッフ一同が次の5年、10年の社会の変化を先取りし、2歩先を行く中長期ビジョンを掲げ、多様な主体とのパートナーシップで社会変革に果敢に挑戦するときである。

【各事業の報告】

1 NPO活動支援事業

(1) コンサルティング・バックオフィス等の支援実施

① 特定非営利活動法人A

地域内の空き家や荒廃地等が放置・管理不全な状態になり地域生活に支障を及ぼすことが懸念されていることを踏まえ、空き家等の適正管理と有効活用を図ることを目的とした法人の設立支援を行った。

② 特定非営利活動法人H

心に余裕がなくなった大人、子どもならびに高齢者、心身障害者に対して、自然、動物、アロ

マ、鉱物等いろいろなものを活用するセラピー、ヒーリングなどの癒しを提供する事業の普及を行う法人の運営支援を行った。

③ 特定非営利活動法人F

長野県における食品ロスの削減と生活困窮者等への支援に関する事業のサポートを会計事務、労務管理事務の代行支援をおこなった。

④ 特定非営利活動法人NS

伝統武術の普及と子どもたちの健全育成を目指していた法人の解散・清算支援を行った。

(2) SAVE JAPANプロジェクト

損保ジャパン日本興亜が「Web約款」活用による経費節減分を協賛金として資金提供するプログラムで、日本NPOセンター、長野県NPOセンター、環境保全実施団体等が協働によって、希生物種をはじめとする「いきものが住みやすい環境づくり」を進めるプロジェクトを実施した。

- ・ 『ecology&eco-lives 信州』の活動に対して支援（3年目）
- ・ 戸隠高原の自然と信仰・文化を体感できる自然観察ウォーキング、夜の戸隠自然園や戸隠宝光社での動物観察のイベント、スノーシューを使った自然園での動植物の観察を行い、一般の方が普段接しない動植物の姿や生態を学ぶとともに、食を通じた交流会で戸隠の魅力を伝えた。

6月24日 戸隠古道からいきものの回廊（みち）をさぐる

9月15日 夜の戸隠の森を大冒険

2月23日 スノーシューでいく戸隠高原

(3) NPO 法人等の実務、広報、組織基盤強化に関する講座の企画開催

① NPO 法成立 20 周年記念フォーラム in 北信越

地域の持続可能性の危機や経済的停滞など、日本社会に構造的課題を抱え、変容が求められる中で、いま改めて、市民社会の意義が問われている中、市民の力により成立したNPO法と市民活動の20年を振り返り、今後の市民活動が力強く進む転換点とすることができた。

NPO 法成立 20 周年記念フォーラム in 北信越実行委員会を組織し、事務局を担当した。

（構成団体：長野県 NPO センター、市民活動サポートセンターとやま、くびき野 NPO サポートセンター、新潟 NPO 協会、こまつ NPO センター、さばえ NPO サポート、長野県長寿社会開発センター、長野県共同募金会、長野県生活協同組合連合会、長野県社会福祉協議会、日本政策金融公庫）

日時：12月9日（日） 13：00～16：30

会場：長野市芸術館3階 アクトスペース

参加者数：90人

内容

第1部 NPOのこれまでと今

○「それぞれの地域から～富山、新潟、長野」

- ・ 夢空間松代のまちとこころを育てる会 代表理事 香山篤美氏
- ・ 市民活動サポートセンターとやま 能登貴史氏

- ・ くびき野NPOサポートセンター 近藤尚仁氏
- ・ 新潟NPO協会 石本貴之氏
- * 聞き手：長野県NPOセンター事務局長 山室秀俊

○ 「NPO法の意義と価値」

- ・ シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 松原明氏

第2部 今後の市民社会のありようを多様なステークホルダーと語り合おう

NPOの意義を踏まえて、NPOの生み出す未来について、様々な立場の参加者全員で一人の市民として共に意見を交わし、北信越エリアでの市民活動のこれからを描くことができた。

* ファシリテーター：長野県長寿社会開発センター理事長 内山二郎氏

② 助成金活用&組織評価セミナー

(一般財団法人 非営利組織評価センター・NPO法人 CANPANセンター共催)

団体が成長し、信頼されるために何が必要か、団体の成長につながる助成金の使い方について学ぶ講座を開催した。あわせて、団体自己評価のワークを通じて、団体の組織基盤を強化するための方策について考えた。

日時：3月10日(日) 13:30~16:40

会場：もんぜんぷら座 3F 302会議室

講師：山田 泰久氏 (NPO法人 CANPANセンター)

参加者数： 30人

(4) NPO・公共的団体等の情報交流・協働推進に関する企画・実施

<年賀はがき寄附金配分事業、長野県共同募金会広域活動団体配分事業>

ポータルサイト「ナガクル」の拡大及びNPOの広報に関する講座を開催した。

① ポータルサイトナガクル記事更新

ソーシャルライターを養成し、協力を得て課題記事8、フレンドリー企業8、その他26記事を更新した。1年間で2万アクセスを超えた。(登録団体は現在29団体)

② 講座の開催

○ ナガクル登録会フォローアップ講座(北信地域)

日時：6月29日(金) 13:30~16:00

会場：もんぜんぷら座 3F 302会議室

講師：吉野真佐代氏 (NPO法人 CANPANセンターアドバイザー)

参加者数： 5人

○ ナガクル登録会(中信地域)

日時：10月13日(土) 13:30~16:00

会場：松本市駅前会館 1F 会議室

講師：吉野真佐代氏 (NPO法人 CANPANセンター)

参加者数： 3人

○ ウェブディレクション講座

日時：9月1日・15日(土) 11:00~16:30

会場：もんぜんぷら座 会議室

講師：信州サーモン氏 (skima 信州代表) 他 5 人

参加者数： 10 人

○ WEB ソーシャルライター養成塾

日時：11月3日・24日(土) 13:00~17:30

会場：もんぜんぷら座 会議室

講師：北原広子氏 (フリーランスライター) 他 2 人

参加者数： 10 人

③ 広報活動

ポータルサイトの中信地区への拡大を図るため、松本市市民活動フェスタ「ぼくらの学校」出展した。

日時：10月6日(土) 9:00~16:00

会場：松本市市民活動サポートセンター

来場者:約 300 人

(5) 会計事務支援

株式会社ソリマチの「会計王」の販売代理及びサポート団体として契約を行い、NPO法人に対して、効率的で適正・信用の高い会計業務の実現にむけてのサポートを行った。

(6) インキュベート・オフィス運営

2019年3月末現在、7団体が入居している。入居団体からのニーズに即時対応するとともに、情報共有・交流することで協働の可能性が広がっている。またスケールメリットが活かされて、水道光熱費等、事務所維持にかかる費用の軽減につながっている。

<入居団体>

- ① 特定非営利活動法人ライフデザインセンター
- ② 特定非営利活動法人アリスチャイルドメイト
- ③ 特定非営利活動法人NPO夢バンク
- ④ 特定非営利活動法人信州野生生物保全センター
- ⑤ NPOナルクながの
- ⑥ 特定非営利活動法人フードバンク信州
- ⑦ 特定非営利活動法人ハーモニーライフ

(7) 訪問・電話・メールの相談対応

NPO法人からの単発的な運営に関する相談・問い合わせに応じて、多様な支援を実施した。

2 企業・団体との協働事業

(1) 中間支援組織との協働

① 長野県長寿社会開発センターとの協働

高齢者の社会参加、「生涯現役」で活躍できる社会環境の構築を推進する長寿社会開発センターの

依頼に基づき、シニア大学専門コース「ビジネスデザイン」の講師を担当した。

年間8回 講座・報告会 (長野市)

受講生 6人

② 佐久市市民活動サポートセンター

佐久市の市民活動を支援するセンターの依頼に基づき、市民向け講座及びスタッフ研修の講師を担当した。

年間4回 講座 (佐久市)

③ 中部環境パートナーシップオフィス

環境省が設置し、中部・北陸地域を管轄する中部環境パートナーシップオフィスの事業に参画した。

- ・ 運営委員として運営委員会に参加し、同所の事業運営への意見や評価を行った。

年2回 (愛知県)

- ・ 同所の事業と連携して、各都道府県で環境団体や行政との関係づくり等に携わる協働コーディネーターの研究集会等への参加

年4回 (愛知県、石川県)

④ 日本NPOセンター、ひろしまNPOセンター

西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」災害に際し、災害支援に関わる情報共有会議等のサポートのため、スタッフ1名を広島県に派遣した。

(2) 行政との協働

① 長野県県民協働課

「NPO設立講座」において、派遣依頼に基づき、NPOの初歩的知識に関する講座講師を担当した。

毎月第2木曜日(5月～3月)11回 (長野市)

上田、北アルプス、北信振興局管内 各1回(9月～10月)

② 長野県危機管理部

- ・ 災害対策本部NPOボランティア班要員参画

県災害対策本部要員として、糸魚川静岡断層に起因する大規模災害を想定した図上訓練に参画した。

9月3日 (長野市)

- ・ 広域受援計画専門部会参画

「広域受援計画」の策定に、長野県社会福祉協議会、JVOADとともに人的支援専門部会委員として携わった。

③ 長野市

審議会等の委員として、長野市の施策に対する意見・評価や助成金等の審査を担当した。

- ・ 行政改革推進審議会 審議委員
- ・ 生活支援体制整備事業第一層協議体 委員
- ・ ながのまちづくり活動支援事業補助金 審査員

③ 佐久市

市職員若手研修において、派遣依頼に基づき、市民との協働に関する講座講師を担当した。

12月13日（佐久市）

(3) 地域金融機関等との協働

「ソーシャル・ビジネス (SB)」「コミュニティ・ビジネス (CB)」の創業の促進を図るため、日本政策金融公庫等と協働して、セミナーの開催や様々な団体によるサポートとネットワークづくりを中心となって行った。

- ・ ソーシャルビジネスサポートながの定例会 全9回
- ・ 「ソーシャルビジネス相談会」
先輩起業家の体験談発表（長野市5名）と個別相談会
3月18日（長野市）

(4) 社会福祉協議会等関係団体との協働

① 長野県社会福祉協議会、長野県生活協同組合連合会等

D-SAT、松本大学との連携による図上訓練、災害時の連携を考える長野フォーラムなどの企画・開催を共催者として参画した。

長野県社会福祉協議会、長野県生活協同組合連合会、全国社会福祉協議会、JVOAD等とともに、県内災害対応の目標共有、支援団体相互の関係づくり、平時の情報共有や研修・訓練の場となるネットワーク構築等に関する運営会議を開催した。

- ・ 運営会議 全5回
- ・ 「第2回災害時の連携を考える長野フォーラム」
災害時の被災者のニーズ把握と具体的な災害支援を考えるワークショップ
3月21日（長野市） 参加者数100人

② 長野県社会福祉協議会、軽井沢町社会福祉協議会

軽井沢町社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会等とともに、全国のボランティア団体や関係機関の交流、課題に対する研究を行う目的で、ボランティア全国フォーラム軽井沢2018の企画・開催する実行委員会に参画した。若者の社会貢献活動への参加促進をテーマとする分科会の企画運営を担当した。

- ・ 実行委員会、幹事会、分科会 9回（軽井沢町、長野市、松本市）
- ・ 「ボランティア全国フォーラム軽井沢2018～響け！ボランティア文化協奏曲」
長野県内や全国の先駆的なボランティア・市民活動の実践を学び、共有し、その成果を発信することで、全国にボランティア・市民活動の文化を奏で、響かせていくことを目的に開催

日時：11月3日（土）13：00 ～ 4日（日）14：00

会場：軽井沢大賀ホール、佐久平交流センターほか

参加者数：約450人

③ 長野市社会福祉協議会等

西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」災害に際し、長野市災害支援本部の構成として、長

野市からの災害支援に関わる情報共有、ボランティアの後方支援、被災地災害ボランティアセンターへの物資支援のサポートを行った。

④ ながの環境パートナーシップ会議

第8回ながの環境団体大集合の企画運営を行うスペシャルプロジェクト実行委員として参画した。

・ 実行委員会 8回 (長野市)

・ 「第8回ながの環境団体大集合」

「私たちの地球環境と未来～こらからの活動とSDGs～」をテーマに、環境活動に取り組んでいる団体や事業などがSDGsを理解し合える場を設け、参加者それぞれの今後のアクションを考える機会とした。

日時：12月15日(土) 13:00～16:00

会場：長野市生涯学習センター

参加者数：111人

(5) 教育機関との協働

県立長野高校1学年のスーパーグローバルハイスクールのカリキュラムの一環として行なわれた生徒のインタビュー及び課題研究発表会に参加して、「こどもの居場所づくり」に関する事例紹介と調査・活動内容へのアドバイスを行った。

インタビュー 月12日、中間課題研究発表会 7月24日 (長野市)

(6) 地縁組織との協働

① 長野市大豆島地区住民自治協議会

依頼に基づき、地域福祉の推進を図る福祉推進員研修のワークショップファシリテーターを担当した。

4月14日(長野市)

② 長野市安茂里地区住民自治協議会

依頼に基づき、生活支援体制整備に関するワークショップ、検討会に参画した。

・ 「資源マップづくりワークショップ」ファシリテーター 8月3日(長野市)

・ 生活支援体制整備事業検討会 ファシリテーター・アドバイザー

1月11日、2月8日、3月8日(長野市)

③ 長野市朝陽地区住民自治協議会

依頼に基づき、福祉推進員研修の講師を担当した。

12月22日(長野市)

(7) その他

① 明治ホールディングスのお菓子寄贈プログラム

・ 日本NPOセンターより推薦団体募集の要請あり、次の団体を推薦。

12月上旬に、段ボール箱(1団体：市価5万円相当)のお菓子が提供された。

さんぼんやなぎプロジェクト：長野市三本柳で子どもを中心とした地域の居場所づくりに取り組む団体

3 長野市市民協働サポートセンター受託事業

長野市が掲げる「協働推進のための基本方針」で示されるセンターの役割・機能の拡大を踏まえ、当センターでは『「協働」が育ち活かされる ながのの未来創造拠点』というミッションを掲げ、NPOのネットワーク組織「ながの協働ねっと」と二人三脚で、NPO・市民・企業・行政・起業家など多様な方々が集う場を創出、市民が自主的につながり、未来志向で議論し、共に地域・社会の課題解決に向けたアクションを起こすきっかけを提供する事業を実施した。

*センター利用者数 6,746人 前年比 64.7% 前々年比 71.2%

(1) 情報の収集・提供業務

① 市民活動情報に関する情報の収集及び提供（機関誌発行4回、他機関機関紙の収集管理、市民公益団体のデータベース化、助成金情報の提供）

② 情報掲示板、関係図書等の管理（各団体のチラシ、ポスター等の提示物の受付等）

③ ホームページ、ブログ、フェイスブックの維持管理、有効活用

④ 市民公益活動団体、ボランティア等に関する情報提供、相談対応、案内

*窓口相談件数 9,360件／電話及びメール相談件数 6,450件／訪問相談件数 4件

【合計161件（前年 114件 前年比 141.2%）】

*窓口情報提供件数 1,303件／電話及びメール情報提供件数 2,512件／訪問情報提供件数 2件

【合計 3,815件（前年 3,955件 前年比 96.5%）】

⑤ 報道機関へのイベント情報提供

長野市民新聞「市民とNPOのひろば」への取材記事、イベント情報提供

⑥ 市内各種団体の訪問調査（訪問件数140件・前年比116.7%）

⑦ 市民団体主催イベントの取材及び情報提供など

（市民新聞「市民とNPOのひろば」編集委員会への参加（毎月）及びイベント取材記事・イベント情報の提供、FMぜんこうじ「長野市広報ふれあいガイド」へのNPO団体出演のコーディネートなど）

⑧ フリースポット管理、問い合わせ対応

(2) 市民公益活動団体、地縁組織、企業等を対象とした支援業務

（市民公益活動団体等への支援）

① ながのまちづくり活動支援事業に係る支援業務

② 市民公益活動団体等との交流や情報交換の機会提供及びコーディネート業務

ア 交流会の企画・実践

・ NPOカフェまんまる（地域まんまる含む） 11回 223人

・ 食・農・山村体験とまちむら交流会 3回 67人

・ ポップアップ知恵出し会議 5回 113人

・ コミュニティブリッジ 3回 17人

・ youth reach 30回 134人

イ 相談・調整 161件（再掲）

- ③ 講座の開催
 - ア NPO（法人）の初歩的知識に関する講座 12回（中止含む） 27人
 - イ NPO（法人）等の会計処理、資金調達、事業企画に関する講座 10回 79人
 - ウ 情報発信（マスコミ向け、ホームページ等）に関する講座 7回 74人
（地縁組織への支援）
- ④ 住民自治協議会、町内会、区などの地縁組織を対象とした相談業務・講座実施
 - ア 機関紙「まんまる」の配布など
（企業への支援）
- ⑤ 企業の社会貢献活動（CSR）に関する相談・案内業務
 - ア 機関紙「まんまる」の配布など
- (3) 市民公益活動の促進を図るためのその他の事業など
 - ① 市民公益活動の促進を図るための事業の企画・提案
 - ア 「ながの協働ねっと」主催事業
 - ・ 理事会 11回 62人
 - ・ 交流会 2回 50人
 - ・ エイリアンミーツ 2回 61人
 - ・ 信州発！一杯の味噌汁プロジェクト 14回 1,132人
 - ・ ながの忍者をふやそう大作戦 16回 702人
 - ・ 権堂〇〇（まるまる）フェスタ 33回 505人
 - ・ 地域まるごとキャンパス 45回 223人 参加した学生 158
 - ・ 長野市民新聞「市民とNPOのひろば」編集委員会 12回 52人
 - イ 他団体への会議スペース提供
貸出件数 52件（利用人数 229人）
 - ② 市民公益活動団体の活動資金調達のための物品販売支援
 - ア 展示スペースの提供 利用団体 16団体
 - ③ 市民協働サポートセンターの周知・広報
（長野市有線放送、ながのTV、FMぜんこうじ、フェイスブックなどの媒体活用）
 - ④ その他
 - ア スタッフ研修 14回（職場外 13回、NPOセンターと一緒に合宿 1回）
 - イ スタッフ全体ミーティング 毎月 1回
- (4) 施設管理業務
 - ① 利用者・利用団体の登録・更新、データベース化、ホームページでの団体リンク集作成・管理業務
 - ② 利用統計資料の作成
 - ③ 情報交換スペースの管理
 - ④ 備品類の管理

4 信州パーソナル・サポート事業（就労準備支援事業）

北部・東部・上田市の各圏域における対象者数やニーズを踏まえて、寄り添い型の効果的な就労準備支援プログラムを作成・実施できるよう、キャリアコンサルタントや産業カウンセラー等の資格保有者、相談業務、就労支援業務、ボランティアコーディネーター業務等の経験を有する者、地域のNPO、社会福祉事業所、企業等の社会資源についての十分な知識やネットワークを有するスタッフを配置し、県内の中間支援組織のネットワークを活かすとともに、東信（上田市）、北信（長野市2か所）に拠点を設置したことにより支援メニューの充実を図り、一般就労が困難な者に対する生活自立・社会自立・就労自立の支援計画の立案と実施を行った。

① 対象者

生活困窮者のうち、以下の者及び被保護者

ア 65歳未満の者

イ 世帯収入月額が市町村民税非課税限度額の1/12の額及び生活保護の住宅扶助基準に基づく額の合算額以下

ウ 金融資産の合計額が基準額に6を乗じて得た額以下

エ アからウに準ずる者として本事業による支援が必要な者

② 実施地域

県委託：東北信地域の郡部町村及び市（佐久市、小諸市、東御市、長野市、須坂市、千曲市）

単独実施：上田市

③ 被支援者

東 部： 8人（生活困窮者6人、被保護者2人）

北 部：16人（生活困窮者10人、被保護者6人）

上田市：16人（生活困窮者11人、被保護者5人）

④ 地域拠点

上田拠点：上田市大手町自治会館（上田市大手町自治会）

長野拠点：長野県NPOセンター セミナー室

たわわ（長野市三輪）（NPO 法人ワーカーズコープかがやき）

5 子どもの居場所づくり事業

学習支援、食事提供、悩み相談等の多機能で家庭機能を補完する地域のこどもの居場所である「信州子どもカフェ」を多様な主体とともに推進し、子ども自身に困難を乗り越えて自立する力をつけてもらうと同時に、地域コミュニティが貧困の連鎖を防止するための取り組みを拡大させていくことができるよう事業を行った。

（1）子どもの居場所・こどもカフェの普及拡大に対する支援

（信州こどもカフェ地域人材育成事業）

県の上田、長野、北信地域振興局単位で「信州こどもカフェ」の普及拡大を図るため、情報共有の場、課題解決の場として、こどもの居場所・こどもカフェの実施団体、支援団体、行政がネットワークする「プラットフォーム」の人材育成事業を行った。

① 上田地域

開催日	会場	参加者数	主な内容
6月29日	上田中央公民館 3階大会議室	30人	人材育成に関する研修会のアイデア出し
9月10日	上田合同庁舎南棟	35人	県内こどもカフェへの食材支援の状況について
9月25日 27日	上田明照会英師館	25日 3人 27日 2人	学習支援・食事提供を行っている上田明照会の英師館の現場を見学し、運営者の思いや課題など
11月24日	まるこ福祉会 きらりホール	20人	地域で増えている子どもの居場所・こども食堂の必要性について、ひとの間主宰の宮田氏による講演とこどもカフェを衛生的に運営する基礎
1月27日	上田文化会館ホール	1部 150人 2部 80人	映画「みんなの学校」の観賞を通して、大阪の大空小学校の取り組みから、子どもの未来を育む地域ぐるみでの取り組みについて

② 長野地域

開催日	会場	参加者数	主な内容
8月10日	長野合同庁舎 別館会議室	33人	県こども・家庭課百瀬氏、県北信教育事務所宮寄氏、あんずカフェ中城からそれぞれの立場で情報提供。その内容について全員で議論をした。また、平成30年度の計画とプラットフォームメンバー等について確認した。
10月21日	吉田公民館大ホール	36人	大阪の大空小学校を題材にした「みんなの学校」を観賞し、子どもの未来を育む地域づくりについて学んだ。
11月11日	もんぜんぷら座 304会議室	10人	居場所の設立運営について、情報提供・交換するとともに、個別プランの作成に向けた知識等を学んだ。
12月1日	柳原公民館大学習室	8人	個別プランの発表とこどもカフェ運営者からアドバイスとコメント。すでに開設されている居場所も参加して店出し方式の交流会を行った。
3月7日	長野合同庁舎 別館会議室	27人	NPO法人キッズドリーム代表の市川氏から佐久地域プラットフォームの事例を学んだ。また、テーマ別の分科会に分かれ、具体的な行動案について考えた。

③ 北信地域

開催日	会場	参加者数	主な内容
7月4日	長野県中野庁舎 201・202会議室	38人	子どもの居場所・こどもカフェ 開設・運営者養成セミナー
10月21日	吉田公民館大ホール	36人	大阪の大空小学校を題材にした「みんなの学校」を観賞し、子どもの未来を育む地域づくりについて学んだ。
11月12日	北信合同庁舎 202・203会議室	12人	居場所の設立運営について、情報提供・交換するとともに、個別プランの作成に向けた知識等を学んだ。
12月1日	柳原公民館大学習室	14人	個別プランの発表とこどもカフェ運営者からアドバイスとコメント。すでに開設されている居場所も参加して店出し方式の交流会を行った。
1月25日	北信合同庁舎 404会議室"	30人	運営者・支援者による情報交換

(2) こどもカフェの直接運営とモデルの実証

こどもたちが安心して過ごし、学習支援や食事支援を通じて、将来に明るい展望を持つことができる多機能な居場所の運営を行った。

地 区	ながのこどもわくわくカフェ (※1)	あんずカフェ
実施期間	2017年8月～2018年9月 ・ 毎月第1・3火曜日開催 16:00～20:00 *助成事業の年度で整理	2018年4月～2019年3月 ・ 月3～5回開催（平日夕方2時間 又は休日夕方2時間） ・ 水曜日または土曜日（月2～3回） 17:30～20:00
会 場	長野市権堂イーストプラザ	千曲市戸倉創造館
子どもの参加人数	26回、のべ154名	47回、のべ324名（半数以上がひとり 親家庭の子ども）
支援者数(※2)	のべ121名	のべ331名

※1 NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクトとの協働により運営、学習支援を担当

※2 支援者：会場運営者、学習支援・食事提供ボランティア等

6 若者の社会・地域活動への参画促進事業

(1) ユースリーチ（長野市若者未来創造サポート事業）

若者が地域の困りごとを解決する行動を企画・実践する「youth reach」を実施した。

① 参加者：高校生・大学生 計50名

② 全体会

・ キックオフセミナー

開催日：2018年6月3日（日）

会場：長野市生涯学習センター4階大会議室3

参加者数：40名

・ 中間リフレクション

開催日：11月23日（金・祝）

場所：JA長野県ビル12階A会議室、長野市生涯学習センター学習室6

・ 就活前セミナー（若者起業・就業等活動支援事業）

開催日：2019年2月23日（日）

場所：4Dstudio

活動内容：自らの進路や職業観について社会経験豊富な大人と本音で話し合う

・ 大リフレクション

開催日：3月27日（水）

場所：長野県高齢者生活協同組合事務所「たわわ善光寺下」（長野市 三輪6丁目17-10）

③ 各班の活動報告

ア 子ども応援部「ながのこどもわくわくカフェ」学習・食事ボランティア

活動内容：地域の子どもの居場所での宿題サポートや食事づくりを行った

イ 子ども応援部高校生対象「哲学カフェ」の企画運営

活動内容：進路や日頃の悩みなど、普段話す機会のないテーマをゆったりと話す場とつくれた

ウ 地域ユニバーサル部「外国人観光客向けマップづくり」

活動内容：ベジタリアンやヴィーガンの方が食事のできる店を明示したマップづくりを行った

エ 地域ユニバーサル部「日本語学習支援活動」

活動内容：外国にルーツを持つ小中学生を対象に日本語の学習支援を行う

オ 保護猫部「保護猫ハウスの運営」「保護猫ハウスのPR」

活動内容：NPO 法人信州猫日和が運営する保護猫ハウスの掃除、猫の世話をを行うとともに、フリーペーパーの発行、広報動画の作成を行った

カ ファンドレイジング部

活動内容：来年度ユースリーチ運営にかかる費用を長野県共同募金会の使途選択募金を活用

キ シニアサポート部

活動内容：高齢者が安心して暮らすことのできる地域を目指して、高齢者支援を行う NPO と連携して、学生ならではの視点でアクションを起こした

ク 環境部

活動内容：NPO 法人みどりの市民と一緒にエシカル消費の勉強会、ゴミ拾いを行った

④ 活動者の満足度及び行動変容

- ・ 満足度：大変良かった 6.7% 良かった 93.3%
- ・ ボランティアへの関心度：活動前 33.3% 活動後 93.3%

(2) 長野県立大学サービ斯拉ーニング

長野県立大学象山寮プログラムの一環として、大学での学びを地域で活かすサービ斯拉ーニング事業を共同実施し、35 フィールドに 136 名の学生が参加した。

(3) 自治体経営シミュレーション研究開発

- ・ 清泉女学院大学榊原直樹専任講師とともに、自治体経営についてゲーム感覚で学べるシミュレーションを研究開発を行った。
- ・ 長野日本大学高等学校 1 年生 300 人を対象に、シミュレーションを実践するとともに、SDGs について特別講演を実施した。

3 月 14 日 講師：中島恵理氏（長野県副知事）

【組織運営】

1 会員の構成

	正会員	準会員（団体）	準会員（個人）	準会員（賛助）	合計
昨年度末	17	21	2		40
入会	6	2	10		18
退会		6	1		7
会員数	23	17	11		51

(2019.6.10 現在)

2 通常総会

- ・ 6月23日(土) 15:30~19:00 もんぜんぷら座 301・304 会議室
定款一部変更について
2017年度事業報告・決算報告/2018年度事業計画・予算
スペシャルセッション~NPOセンターのはじめて物語~
市川博美理事を囲んでのフリートーク

3 理事会

- ・ 6月23日(金) 15:00~15:30 もんぜんぷら座 301 会議室
2018年度通常総会について
受託事業の執行に伴う借入れについて
- ・ 7月19日(木) 18:00~20:00 長野県 NPO センター 事務局
長野県みらい基金への支援について
設立20周年事業について
- ・ 2月5日(火) 17:00~17:30 長野県 NPO センター 事務局
運転資金の借入れについて・組織基盤強化について

4 常務理事会

- 7月19日(木) 18:00~20:00 長野県 NPO センター 事務局
長野県みらい基金への支援について
設立20周年事業について

5 スタッフ合宿

- 1月11日(金) 14:00~12日(土) 14:00 山田代表理事白馬別荘
法人のビジョンと戦略、会員拡大、ボランティア等の参画拡大、2019年から2021年の具体的事業を集中的に検討した。

6 スタッフ:2019年3月31日現在

- ・常勤 8人
- ・非常勤 12人